

今の日本はこのままでいいのだろうか？

NPO 法人 武士道協会

=====
NPO法人 武士道協会は、現代日本社会が心の中から崩れてゆきつつあることを案じて、元財務大臣・塩川正十郎を中心に集った有志により結成された組織です。

私たちは、日本古来の武士道精神に思いを致しつつ、現代の時代性を加味し、この国の精神面の礎を築いてゆきたいと願っています。

この目的に向かい、武士道協会は、昨今の日本に起こっている様々な異常な事件や世相に対して、見解を発表し、現代社会に警鐘を打ち鳴らして参りたいと考えております。

今回は、小野専務理事が執筆致しました。ご一読頂ければ幸いです。

「八王子・殺傷事件」に思う

7月22日(火)の夜、八王子の書店でまた悲惨な事件が起こった。33才の男が、アルバイト店員・斉木愛さん(22)に突然襲いかかり、殺害したという事件である。しかも、その動機たるや「相談に乗ってくれない親を困らせたかったから」ということであり、開いた口が塞がらない。

このところ、このような異常な動機に基づく通り魔事件が相次いでいることを見ていると、もうこれは、特殊なケースというよりも、日本社会全体に広がりつつ病気と考えざるを得ないものである。

その病気というのは、恐らく人の心を空洞化させる病である。つまり、人は元来、その心の中に、人生の足場となるものと自らが追い求める理想を共に育むという性質を備えているものだが、これら犯人は、その両方共に、それまでの人生の中でうまく形成出来ず、その結果、心の中に自らを託するに足るものも何も持っていないという状況だったのだと思う。仮に、このどちらか一方だけでもあれば、外から心の中に吹き込んでくる風(様々な問題)に対して、多少揺れ動くことがあったとしても、全てが吹き飛ばされたりはしなかつただろう。その自らがよって立つところの足場も、また、手を伸ばす先の理想も、共に心の中に無いから、外部からの風によって簡単に吹き飛ばされて、心を空洞化してしまうというわけである。そして、その心の空洞化部分に、人を殺すことを異常なことと考えないテレビゲームや殺人ドラマ等が簡単に入り込んで、その心の全てとなり、異常な犯罪を引き起こすということではないだろうか。

武士道協会では、このような精神状況に対して、人間として、しっかりと自らの足を降ろすことの出来る足場と、手を伸ばして掴むべき理想の双方を、心の中に形成する活動を進めてゆきたいと考えている。そして、いかなる風が吹いても、決して心の空洞化を生み出さない人々を育成してゆきたいと考えている次第である。

2008年7月25日

NPO 法人 武士道協会
専務理事 小野 晋也

=====
特定非営利活動法人 武士道協会 <http://www.bushido.or.jp/>

■理事長： 塩川正十郎

■事務局連絡先： info@bushido.or.jp

TEL 075-681-5514 FAX 075-682-3565

〒601-8411 京都市南区西九条北ノ内町11番地 (株)PHP 研究所内

=====
※協会の詳しい資料をご希望の場合はご連絡ください。